



## U コマンド

---

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「コマンドモード」を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

# undebug all

すべてのデバッグをディセーブルにするには、**undebug all** コマンドを使用します。

**undebug all**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** すべてのデバッグを終了するには、このコマンドを使用します。

**例** 次に、スイッチのすべてのデバッグをディセーブルにする例を示します。

```
switch# undebug all
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>no debug all</code>	スイッチに設定されているすべての <b>debug</b> コマンドをディセーブルにします ( <code>undebug all</code> と同様)。
	<code>show debug</code>	スイッチに設定されているデバッグ コマンドを表示します。

# update license

既存のライセンスを更新するには、EXEC モードで **update license** コマンドを使用します。

```
update license {url | bootflash: | slot0: | volatile:} filename
```

## シンタックスの説明

<b>update license</b>	インストール済で有効期限が満了するライセンスを更新します。
<i>url</i>	アンインストールするライセンス ファイルの URL を指定します。
<b>bootflash:</b>	内部ブートフラッシュ メモリのライセンス ファイルを指定します。
<b>slot0:</b>	コンパクトフラッシュ メモリや PCMCIA カードのライセンス ファイルを指定します。
<b>volatile:</b>	揮発性ファイル システムのライセンス ファイルを指定します。
<i>filename</i>	更新するライセンス ファイルの名前を指定します。

## コマンド モード

EXEC モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(2)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、特定のライセンスを更新する例を示します。

```
switch# update license bootflash:sanextn2.lic sanextn1.lic
Updating sanextn1.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
# An example fcports license
INCREMENT SAN_EXTN_OVER_IP cisco 1.000 permanent 1 HOSTID=VDH=ABCD \
    NOTICE=<LicFileID>san_extn1.lic</LicFileID><LicLineID>0</LicLineID> \
    SIGN=33088E76F668

with bootflash:/sanextn2.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
# An example fcports license
INCREMENT SAN_EXTN_OVER_IP cisco 1.000 permanent 1 HOSTID=VDH=ABCD \
    NOTICE=<LicFileID>san_extn2.lic</LicFileID><LicLineID>1</LicLineID> \
    SIGN=67CB2A8CCAC2

Do you want to continue? (y/n) y
Updating license ..done
```

# use-profile

Fibre Channel over IP (FCIP) インターフェイスにプロファイルをバインドするには、**use-profile** オプションを使用します。設定プロファイルをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
use-profile profile-id
no use-profile profile-id
```

<b>シンタックスの説明</b>	<b>use-profile profile-id</b> 使用されるプロファイル ID を指定します。有効範囲は 1 ~ 255 です。
------------------	---

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンド モード</b>	インターフェイス コンフィギュレーション サブモード
-----------------	----------------------------

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.1(1)	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	このコマンドは switch(config-if)# サブモードからアクセスします。 このコマンドは、プロファイルを FCIP インターフェイスにバインドします。
-------------------	--

<b>例</b>	<pre>switch# config terminal switch(config)# interface fcip 50 switch(config-if)# use-profile 100 switch(config-if)# no use-profile 100</pre>
----------	---

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	show interface fcip	指定した FCIP インターフェイスのインターフェイス設定を表示します。
	show fcip	FCIP プロファイルに関する情報を表示します。

## username

ユーザを定義するには、コンフィギュレーション モードで **username** コマンドを使用します。コンフィギュレーションを取り消すか、または出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
username name [expire date | iscsi | password [0 | 5 | 7] user-password [expire date] [role rolename] |
role rolename | ssh-cert-dn distinguished-name {dsa | rsa} | sshkey {key-content | file filename}]
```

```
no username name [expire date | iscsi | password [0 | 5 | 7] user-password [expire date] [role rolename]
| role rolename | ssh-cert-dn distinguished-name {dsa | rsa} | sshkey {key-content | file filename}]
```

### シンタックスの説明

<b>name</b>	ユーザ名を指定します。1 最大 32 文字まで可能です。
<b>expire date</b>	このユーザ アカウントの期限を (YYYY-MM-DD の形式で) 指定します。
<b>iscsi</b>	iSCSI ユーザを識別します。
<b>password</b>	ユーザのパスワードを設定します。パスワードは 64 文字に制限されています。最小は 8 文字です。
<b>user-password</b>	パスワードを入力します。1 最大 32 文字まで可能です。
<b>0</b>	ユーザの平文パスワードを設定します。
<b>5</b>	ユーザの強力暗号化パスワードを指定します。
<b>7</b>	ユーザの暗号化パスワードを指定します。
<b>role rolename</b>	ユーザの役割名を指定します。1 最大 32 文字まで可能です。
<b>ssh-cert-dn distinguished-name</b>	SSH X.509 証明書認定者名を指定します。最大文字サイズは 512 です。
<b>dsa</b>	Digital Signature Algorithm (DSA) アルゴリズムを指定します。
<b>rsa</b>	Rivest, Shamir, Adelman (RSA) アルゴリズムを指定します。
<b>sshkey key_content</b>	OPENSSH フォーマットの SSH 公開鍵について、実際の内容を指定します。
<b>file filename</b>	OPENSSH または IETF SECH 形式の SSH 公開鍵、または PEM 形式の公開鍵証明書を含むファイルを指定します。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

コンフィギュレーション モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
1.0(2)	このコマンドが導入されました。
2.0(x)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>update_snmpv3</b> オプションを削除しました。</li> <li>• パスワードのレベル <b>7</b> を追加しました。</li> </ul>
3.0(1)	<b>ssh-cert-dn</b> 、 <b>dsa</b> 、および <b>rsa</b> オプションが追加されました。

### 使用上のガイドライン

SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) パスワードを変更するには、平文 CLI パスワードが必要です。CLI を使用してパスワードを変更するには、SNMPv3 パスワードが必要です。

**username** コマンドで指定されたパスワードは、SNMP ユーザの **auth** および **priv** パスフレーズと同期します。

いずれかのコマンドを使用してユーザを削除すると、そのユーザは SNMP と CLI の両方で削除されることとなります。

ユーザ役割のマッピング変更は、SNMP と CLI で同期します。

SSH X.509 証明書 distinguished name (DN; 認定者名) は、実際には証明書内の件名です。証明書から件名を抽出して、件名を **username** コマンドの引数として指定します。

**例**

次に、ユーザを定義する例を示します。

```
switch(config)# username knuckles password testpw role bodega
switch(config)# do show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:knuckles
    this user account has no expiry date
    roles:bodega
```

次に、iSCSI 認証を使用してログインするためのユーザの名前を設定する例を示します。

```
switch(config)# username iscsi
```

次に、指定した役割 (techdocs) のモードを開始する例を示します。プロンプトが、そのロール設定サブモードを開始したことを示しています。このサブモードは、techdocs グループに固有のものになっています。

```
switch(config)# role name techdocs
switch(config-role)#
```

次に、techdocs という役割を削除する例を示します。

```
switch(config)# no role name techdocs
```

次に、新しい役割に説明を割り当てる例を示します。説明は 1 行に限定され、スペースを含められません。

```
switch(config-role)# description Entire Tech. Docs. group
```

次に、Tech. Docs. グループの説明をリセットする例を示します。

```
switch(config-role)# no description
```

次に、パスワードが abcd で有効期限が 2003 年 5 月 31 日のユーザ アカウント (usam) を作成するか、更新する例を示します。

```
switch(config)# username usam password abcd expire 2003-05-31
```

次に、平文 (0 で示す) で設定されたパスワードが abcd のユーザ アカウント (msam) を作成するか、更新する例を示します。

```
switch(config)# username msam password 0 abcd role network-operator
```

次に、ユーザ アカウント user1 の暗号化 (5 で指定) パスワード (!@\*asdfsdfjh!@df) を指定する例を示します。

```
switch(config)# username user1 password 5!@*asdfsdfjh!@df
```

次に、network-admin 役割に指定したユーザ (usam) を追加する例を示します。

```
switch(config)# username usam role network-admin
```

次に、vsan-admin 役割から指定したユーザ (usam) を削除する例を示します。

```
switch(config)# no username usam role vsan-admin
```

次に、SSH 証明書認証のためにスイッチに認定者名を定義する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# username knuckles ssh-cert-dn /CN=excal-1.cisco.com rsa
switch(config)# do show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:knuckles
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
    ssh cert DN : /CN=excal-1.cisco.com; Algo: x509v3-sign-rsa
```

次に、既存ユーザアカウント (usam) の SSH X.509 証明書の認定者名と DSA アルゴリズムを指定する例を示します。

```
switch(config)# username usam ssh-cert-dn usam-dn dsa
```

次に、既存ユーザアカウントの SSH X.509 証明書の認定者名と RSA アルゴリズムを指定する例を示します。

```
switch(config)# username user1 ssh-cert-dn user1-dn rsa
```

次に、ユーザアカウントの SSH X.509 証明書認定者名を削除する例を示します。

```
switch(config)# no username admin ssh-cert-dnadmin-dn dsa
```

次に、指定したユーザ (usam) の SSH 鍵の内容を識別する例を示します。

```
switch(config)# username usam sshkey fsafsd2344234234ffgsdfgffsdfsfsfssf
```

次に、ユーザ usam の SSH 鍵の内容を削除する例を示します。

```
switch(config)# no username usam sshkey fsafsd2344234234ffgsdfgffsdfsfsfssf
```

次に、指定したユーザ (joe) の SNMPv3 パスワードを更新する例を示します。ローカル CLI パスワードおよび SNMP パスワードが更新されます。ユーザ joe が存在しない場合、このコマンドは失敗します。

```
switch(config)# username joe password wxyz6789 update-snmpv3 abcd1234
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
role	ユーザ役割を設定します。
show username	ユーザ名情報を表示します。

# username (iSCSI initiator configuration and iSLB initiator configuration)

iSCSI ログイン認証のユーザ名を割り当てるには、iSCSI イニシエータ コンフィギュレーション サブモードで **username** コマンドを使用します。iSCSI server load balancing (iSLB) ログイン認証のユーザ名を割り当てるには、iSLB イニシエータ コンフィギュレーション サブモードで **username** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

**username** *username*

**no username** *username*

<b>シンタックスの説明</b>	<i>username</i>	iSCSI または iSLB ログイン認証のユーザ名を指定します。
<b>デフォルト</b>	なし	
<b>コマンド モード</b>	iSCSI イニシエータ コンフィギュレーション サブモード iSLB イニシエータ コンフィギュレーション サブモード	
<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	1.3(2)	このコマンドが導入されました。
	3.0(1)	iSLB イニシエータ コンフィギュレーション サブモードが追加されました。

**使用上のガイドライン** なし

**例** 次に、iSCSI イニシエータの iSCSI ログイン認証のユーザ名を割り当てる例を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# iscsi initiator name iqn.1987-02.com.cisco.initiator
switch(config-iscsi-init)# username iSCSIloginUsername
switch(config-iscsi-init)#
```

次に、iSLB イニシエータの iSLB ログイン認証のユーザ名 tester を割り当てる例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# islb initiator ip-address 100.10.10.10
switch(config-iscsi-islb-init)# username ?
<WORD> Enter username <Max Size - 32>
switch(config-iscsi-islb-init)# username tester
```

次に、iSLB イニシエータのユーザ名 tester を削除する例を示します。

```
switch (config-iscsi-islb-init)# no username tester
```



## 関連コマンド

コマンド	説明
iscsi initiator name	iSCSI 名を割り当て、iSCSI イニシエータ コンフィギュレーション サブモードに変更します。
show iscsi initiator	設定された iSCSI イニシエータに関する情報を表示します。
<b>show iscsi initiator configured</b>	設定された iSCSI イニシエータの iSCSI イニシエータ情報を表示します。
show <b>iscsi</b> initiator detail	詳細な iSCSI イニシエータ情報を表示します。
show <b>iscsi</b> initiator summary	iSCSI イニシエータ要約情報を表示します。
islb initiator	iSLB 名と IP アドレスを iSLB イニシエータに割り当てて、iSLB イニシエータ コンフィギュレーション サブモードを開始します。
<b>show islb initiator</b>	iSLB イニシエータ情報を表示します。
<b>show islb initiator configured</b>	設定された iSLB イニシエータの iSLB イニシエータ情報を表示します。
show islb initiator detail	詳細な iSLB イニシエータ情報を表示します。
show islb initiator summary	iSLB イニシエータ要約情報を表示します。

■ username (iSCSI initiator configuration and iSLB initiator configuration)